

環境大臣 望月 義夫 殿

指定廃棄物の最終処分場問題に関する住民説明会・公開討論会開催に関する申し入れ

環境省は、東京電力福島第一原子力発電所事故で各地に飛散した放射能によって発生した指定廃棄物の最終処分場建設の候補地として、宮城県内では加美町田代岳、栗原市深山嶽、大和町下原の3か所を候補地として示しています。3候補地とも、水源地、水系上流域に位置し、地質学的にも地滑り地帯と指摘される地域であり、到底「適地」とは言えない場所です。

去る4月5日、環境省が主催した「環境省と考える指定廃棄物の課題解決に向けたフォーラム」においても、参加した専門家から「3候補地の地質、地滑りの問題点」が指摘され、候補地選定の経過、判断の根拠を示してほしいとの意見が出されましたが、担当参事官ならびに同席していた「有識者会議」委員からは会場参加者が納得のいく説明はないままでした。また、「風評被害」に対する賠償についての質問にも明確な説明がないままでした。

貴職におかれましては、同「フォーラム」について、「県民の皆さんと直接意見交換でき、大変有意義だった」と評価され、宮城県で2回目の県民説明会を開催する意向と報じられています。

つきましては、次回の説明会の開催にあたっては「公開討論会」の形式で、より実りあるものにしていただきたく以下、申し入れいたします。

記

1. 次回の説明会の開催にあたっては、地質学の専門家、法律の専門家（弁護士）等2～3名と、環境省担当者、有識者会議「座長」等2～3名による「公開討論会」の形式を採られること。
2. 「会場」は3候補地の住民をはじめ、参加を希望する県民がより多く参加できる「会場」で実施されること。

※当方として、開催準備にあたって、必要な実務協議を行う用意はございますので、協議の場を設定されることを希望いたします。

以上

<申し入れ団体>

- ・東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター（代表世話人：綱島不二雄）
- ・女川原発の再稼働を許さない！2015みやぎアクション（代表：鈴木宏一）
- ・生活協同組合あいコープみやぎ（理事長：小野瀬裕義）
- ・船形山のブナを守る会（代表：小関俊夫）
- ・子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワーク（共同代表：浅野富美江、小澤かつ、児玉芳江、村口喜代、山田いずみ）

事務局連絡先 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
仙台市青葉区大町2丁目5-10 御譜代町ビル305号 電話 022-399-6907 FAX 022-399-6925

2015.04.17-環境省へ「公開討論会」の開催を求める申し入れ・賛同団体

2015年4月17日現在
(50音順)

- 女川原発の再稼働を許さない！2015みやぎアクション
代表)鈴木宏一
仙台市泉区虹の丘3丁目5-13 電話022-373-7000(担当:篠原)
東日本大震災の被災原発である女川原発の再稼働には多くの問題点があり、その問題を深く掘り下げ、社会にアピールするための行動に取り組んでいるネットワーク。(構成メンバー40名)
- 子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワーク
共同代表)浅野富美江・小澤かつ・児玉芳江・村口喜代・山田いずみ
仙台市青葉区大町2丁目5-10 御譜代町ビル305号 電話022-215-3120(担当:本田)
子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざして活動している。(呼びかけ人75名)
- 生活協同組合あいコープみやぎ
理事長)小野瀬裕義
仙台市宮城野区日の出町3丁目4-17 電話022-284-7241(担当:多々良)
地産地消の食材の共同購入を活動目的にしています。(組合員数約15,000人)
- 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
代表世話人)網島不二雄
仙台市青葉区大町2丁目5-10 御譜代町ビル305号 電話022-399-6907(担当:金田)
被災者・被災地が主体の復旧・復興を目指し、被災地で起こっている住民による復旧・復興のうごきをサポートしていくことをめざして活動している。(世話人51名)
- 船形山のブナを守る会
代表)小関俊夫
大崎市三本木新沼字諏訪142 電話0229-52-3072(担当:芳川)
「自然環境維持」を活動目的にしています。(有効会員数200人)

以上

※本件「申し入れ」についての問い合わせ先

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
仙台市青葉区大町2丁目5-10 御譜代町ビル305号 電話022-399-6907(担当:金田)